



文学部教務課（大宮）



テーマ：「モンゴル帝国の虚像と実像」

【第25回文学部コモンズカフェを開催します】

モンゴル帝国と言えば、多くの人が圧倒的な軍事力で抵抗する人々を無理やり押さえつけて拡大したという、暴虐なイメージをもっているのではないだろうか。これは、モンゴルの攻撃や支配を受けた東西各地の定住文明圏の人々が記した史料をもとにした研究によるものである。しかし、それらの記述は、モンゴルの攻撃に苦しみ、あるいは支配された時の憎悪のため、極度に偏り、必要以上に彼らをおとしめたものであった。それを無批判に受けれた歴史認識は正しいと言えない。

私はこれまで、史料の再検討、現地調査などを通じて、なぜあのような広域国家の成立・維持が可能だったのか、その要因と経緯を多面的に追求し、モンゴル帝国のユーラシア各地にもたらした歴史的意義を考えてきた。

今回はそのような私の研究成果の一端をお話しできればと考えている。

講師：文学部 歴史学科 東洋史学専攻
村岡 倫 教授 【専門分野】モンゴル帝国史

日時：2024年12月5日（木）12:35～13:05

開催：東覺2階学生コモンズ
または、オンライン（zoom）

参加方法：以下QRコードより、

12月4日（水）17:00までにお申し込み
ください。

※対面参加は学内者のみ

※参加費無料

問い合わせ先：文学部教務課

E-mail：let@ad.ryukoku.ac.jp



※文学部コモンズカフェ

2018年の大宮キャンパス東覺にラーニングコモンズが設置されたことを契機として、学生や教員との相互交流を目的に、お昼休みを利用して龍谷大学内外の研究者から、研究内容をわかりやすく解説するカフェイベントとして、文学部コモンズカフェを開催しています。